

期待背に甲子園へ

光星ナイン 八戸を出発

8月6日に兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する第101回全国高校野球

選手権に出場する八戸学院光星高校ナインは31日午前、決戦の地へ向け新幹線

で八戸市を出発した。同日午後、大阪府の宿舎に入り、初戦に備える。

同校で行われた出発式では、教職員や地域住民らが見守る中、制服姿の選手ら40人が整列。小野崎龍一校長が「たくさんの方からもらった激励の言葉を胸に刻み、これまでの野球生活で最高の、忘れられない夏にしてほしい」と激励した。

仲井宗基監督が「3季連続甲子園出場の経験を生かし、正々堂々戦つ」と宣言。武岡龍世主将が「自分たちの魅力である粘り強い野球を十分に発揮し、（出場校の中で）一番長い夏を過ごせるよう頑張りたい」と決意を述べた。バスに乗り込んだ選手たちは、見送る人たちに笑顔で手を振りながら八戸駅に向かった。

ナインは8月1日午前、甲子園球場で初練習を行い、3日の組み合わせ抽選会に臨む。（大久保拓地）

小野崎校長（左）に決意の言葉を述べる武岡主将（中央）ら光星ナイン（31日午前7時ごろ、八戸学院光星高校

